



問 津駅周辺基盤整備のビジョン（案）について問う

津駅周辺基盤整備ビジョン（案）が、令和7年5月9日開催の津駅周辺道路空間再編検討委員会や5月15日開催の全員協議会で示され、その中で官民連携によるにぎわい・滞留空間創出の考え方について課題と目標が掲げられている。ビジョンの実現に向けて、駅周辺の活性化や駅舎そのものの大きな変化などが市民や利用者から期待されていると思うが、その取り組みの考えは。

答 国・県と連携しながらにぎわい・滞留空間創出に取り組む

現在、国・県と連携し、津駅周辺におけるバスプロジェクトをはじめとする道路空間再編に向けた検討を進めており、この取り組みを50年ぶりに津駅周辺のまちづくりを進めるチャンスと捉え、官民連携も含めた施策により地域の活力を引き出し、都市拠点としての魅力向上を目指すとする目標を掲げている。今後、交通ターミナルと一体となった複合建築物の整備が可能であれば、都市拠点としての魅力が一層向上するものと考え、民間事業者へサウンディング調査を実施してその可能性を追求し、県道におけるほこみち制度活用も含め、にぎわい・滞留空間の創出に取り組んでいく。

その他の質疑・質問

- 津駅西口駅前広場基本計画について
- 利用者の安全は十分に担保されているか
- 大規模災害時の応急給水について
- 優先順位の考え方や人工透析施設への対応は
- 災害医療対策について
- 避難所における避難者の健康管理・情報管理は
- コールトリアージなど津市消防の対応は

駅舎の建て替えも期待され、生活に身近なスーパーなども強く望まれている



問 学校施設における不審者侵入防止のチェック体制は

2001年に大阪府の小学校内で起きた殺傷事件を契機に、不審者侵入による被害を防ぐため、国内全ての学校であらゆる対策が講じられてきた。

しかしながら、学校への侵入事件が後を絶たないことから、校門から校舎入口までの不審者侵入防止のチェック体制の在り方と不審者侵入の抑制効果が期待できる「来校者誘導ライン」設置についての考えを問う。

答 安全対策の充実について、各学校に周知徹底していく

不審者については、各学校の実情に応じて作成する危機管理マニュアルを基に、校門を閉める、入口に案内および誘導を表示する、来訪者には玄関で受け付け名簿に記入させる、来訪者に名札を着用させるなどの方法により早期発見および侵入防止に努めるとともに、教職員による日常的な校内巡回や来訪者への声かけなども実施しているが、これらの対策が徹底されていない学校も見受けられることから、校長会などを通じて安全対策の充実について周知徹底していく。

なお、「来校者誘導ライン」の設置については、現在のところ考えていない。

その他の質疑・質問

- 災害用移動式トイレ車両1台購入の概要は
- 津市立三重短期大学における取得可能な資格・免許に関して
- 教員免許の取得について
- 津市立三重短期大学の学費に関して
- 会計年度任用職員等の報酬単価に関して
- シェアサイクル実証実験に関して

神奈川県藤沢市の全小中学校に設置された「来校者誘導ライン」は、不審者侵入防止策の一つ

